



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 ZOA

上場取引所 東

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊井 一史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 安井 明宏

TEL 055-922-1975

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,311	11.3	351	20.8	357	20.7	251	19.7
2023年3月期第3四半期	7,115	3.7	444	0.2	450	0.5	313	1.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	200.84	
2023年3月期第3四半期	215.44	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,139	2,676	52.1
2023年3月期	5,152	2,474	48.0

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 2,676百万円 2023年3月期 2,474百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		58.00	58.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				58.00	58.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	0.8	545	1.3	550	1.0	375	0.6	299.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,454,000 株	2023年3月期	1,454,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	200,767 株	2023年3月期	203,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,252,180 株	2023年3月期3Q	1,454,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調にあるものの、国際情勢等による物価上昇の影響が消費意欲を抑制しており、景気を下押しするリスクが持続しております。

当社が属するパソコン市場に関しては、コロナ禍以降におけるリモートワークや巣ごもり需要による特需の反動減により、非常に厳しい市場環境となっております。

このような状況下で当社におきましても、主力であるパソコン本体の販売が減少し、売上が減少しました。

また、インターネット通信販売事業においては、夏場以降はバイク用品の販売は回復しているものの、グラフィックボードやマザーボード等の組み立てパソコン用パーツが前事業年度に比べて販売が低迷し、売上が減少しました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績については、売上高6,311,330千円（前年同期比11.3%減）、経常利益357,510千円（前年同期比20.7%減）、四半期純利益251,498千円（前年同期比19.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1. 小売事業

小売事業全体の売上高は6,002,956千円（前年同期比13.5%減）、粗利は1,671,349千円（前年同期比10.5%減）となりました。各事業の実績は次のとおりであります。

##### (パソコン事業)

パソコン事業の売上高は3,318,085千円（前年同期比14.5%減）、粗利は1,162,346千円（前年同期比7.7%減）となりました。

パソコン事業においては、eスポーツで話題性の高いゲーミングパソコンの販売は好調に推移しているものの、買い控え等の理由からコンシューマ向け事務用パソコンの販売低迷が続いており、パソコン販売全体では前事業年度を下回る結果となっております。

パソコンの販売が厳しい状況ではありますが、当社の収益の柱でもありますサポート（初期設定及びデータ移行等）のパソコン購入時受付率は70%を超える水準まで上昇しております。同様に注力しております出張サポートの依頼件数も前事業年度を超える実績で推移しており、収益向上に寄与しております。販売が厳しい状況においても、サポート対応を強化することで、収益を確保できる体制が構築されていることが当社の強みであります。

しかし、コロナ禍におけるテレワーク需要や巣ごもり需要の反動減により、売上高は前第3四半期累計期間よりも減少し、粗利に関してもサポート強化により収益性は向上したものの、売上減少をカバーするには至りませんでした。

##### (バイク事業)

バイク事業の売上高は185,252千円（前年同期比20.1%減）、粗利は78,013千円（前年同期比14.7%減）となりました。

バイク事業においては、通信販売へシフトしている傾向が続いていることに加えて、不安定な天候によりバイクの利用機会が減少していると考えられ、店頭販売は減少傾向にあります。

##### (インターネット通信販売事業)

インターネット通信販売事業の売上高は2,499,617千円（前年同期比11.6%減）、粗利は430,990千円（前年同期比16.7%減）となりました。

インターネット通信販売事業においては、ゲーミング関連の周辺機器及びデバイスが好調に推移しております。

反面、先述のとおりパソコン用パーツの低迷、バイク用品については夏場以降の販売が回復したものの、春から夏までの天候不順等を要因とした販売の減少をカバーするには至らず、前第3四半期累計期間を下回る状況であります。

## 2. 不動産事業

不動産事業の売上高は308,374千円（前年同期比75.4%増）、粗利は56,495千円（前年同期比100.2%増）となりました。

不動産事業においては、事業を開始して2年目となり、事業の成熟度が高まりつつあることに加えて、大型案件の成約がなされたことで、売上高・粗利ともに前第3四半期累計期間を上回る実績となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて12,802千円減少し、5,139,335千円となりました。その主たる要因は、商品が37,759千円増加し、売掛金が48,357千円、販売用不動産が20,896千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて214,687千円減少し、2,463,176千円となりました。その主たる要因は、未払法人税等が79,105千円、長期借入金が157,476千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて201,884千円増加し、2,676,158千円となりました。この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は52.1%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載した業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	658,693	636,827
売掛金	447,817	399,460
商品	1,996,135	2,033,894
販売用不動産	123,513	102,617
その他	161,271	160,702
貸倒引当金	△1,509	△1,296
流動資産合計	3,385,924	3,332,205
固定資産		
有形固定資産		
土地	943,465	943,465
その他(純額)	236,256	269,152
有形固定資産合計	1,179,721	1,212,618
無形固定資産	18,828	17,036
投資その他の資産	567,663	577,475
固定資産合計	1,766,213	1,807,129
資産合計	5,152,138	5,139,335
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	631,904	703,483
1年内返済予定の長期借入金	469,936	442,467
未払法人税等	106,635	27,530
賞与引当金	30,810	13,860
契約負債	298,695	281,941
その他	187,086	168,679
流動負債合計	1,725,069	1,637,961
固定負債		
長期借入金	845,568	715,561
長期未払金	4,133	4,133
退職給付引当金	103,093	105,521
固定負債合計	952,794	825,215
負債合計	2,677,864	2,463,176
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	2,074,299	2,253,262
自己株式	△266,657	△262,749
株主資本合計	2,463,381	2,646,252
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,892	29,905
評価・換算差額等合計	10,892	29,905
純資産合計	2,474,274	2,676,158
負債純資産合計	5,152,138	5,139,335

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	7,115,328	6,311,330
売上原価	5,219,596	4,585,435
売上総利益	1,895,732	1,725,895
販売費及び一般管理費	1,451,599	1,374,274
営業利益	444,133	351,621
営業外収益		
受取手数料	5,091	4,711
その他	4,369	3,865
営業外収益合計	9,461	8,576
営業外費用		
支払利息	2,884	2,687
その他	0	—
営業外費用合計	2,885	2,687
経常利益	450,709	357,510
特別利益		
固定資産売却益	2,287	—
関係会社清算益	—	2,629
特別利益合計	2,287	2,629
税引前四半期純利益	452,996	360,139
法人税等	139,732	108,641
四半期純利益	313,264	251,498

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。